地域特性を活かし住民・行政・企業と協働で行う環境学習

文部科学大臣賞　　広島県　福山市立今津小学校

瀬戸内海を臨む高台に位置する同校は、川や樹木に囲まれた自然豊かな環境の中にある。学区内は住民の美化活動が盛んで、地域の資源を活かしたまちづくりに取り組んでいる。その活動に積極的に参加することで住民と絆を深め、地域の特性を取り入れた体験型の環境学習を行っているのが同校の児童たちだ。特徴的なのは、どの活動も学校だけではなく地域団体や企業、保護者、行政と「協働」で進められている点である。

平成 14 年から始まったゴミ処理と 3R 推進の環境学習出前授業では、福山クリーンセンターや福山市職員らが講師になり身近に取り組めることを紹介。そこで得た知識は日常生活の他、通学路や地域に流れる本郷川の美化活動で回収した不用品を細かく分類し、分析するときなどに活かされる。これらの取り組みをきっかけに児童の発案でスタートしたのが、本郷川にホタルを復活させるプロジェクト。まず、学区内にある「ほたるの館」の牧平正信館長からホタルの飼育方法を学んだ後、校内で育てたホタルを実際に放流。ホタルの生態を知って愛着が芽生えた児童たちは、カワニナの帽子や夜露のマントを着用した環境と平和を守るキャラクター「ホタマン」を生み出した。今では地域のちょっとした人気者だ。地域が主催する行事「ほたるの夕べ」では、美化活動やホタル学習を通して学んだことをクイズ形式や手づくり大型絵本で情報発信するなどして、子どもからお年寄りまで世代を超えた交流を深めている。

牧平氏は、「**活動を通して自分のためじゃなくみんなのためにやるんだという児童の意気込みを感じた**」と手ごたえを実感している。協働の学校づくりが、今津町のシンボルであるきれいな本郷川をもっと地域にアピールしたいという児童たちの熱い想いを育てている。

写真上：不用品の分析を行う児童たち、写真中：本郷川の水生生物調査、写真下：地域行事「ほたるの夕べ」での学習発表会、写真下右：地域で人気急上昇中のキャラクター「ホタマン」、写真下左：「ホタマン」を使った大型環境絵本を制作している様子

広島県福山市立今津小学校

学校長：石井秀司

生徒数：334 名(2012 年 11 月末現在)・全 14 学級

住所：広島県福山市今津町 1561 番地

電話：084-933-4212

アクセス：JR「松永駅」より車で 10 分